



# 学校だより

7月号



## 今、思うこと

100周年・閉校の年の一学期を振り返って

子供たちが育てているあさがお、なす、ピーマンなども大きく育ち、初夏の風に気持ちよさそうに揺れています。「みんな大好き」を合言葉にスタートした平野小学校最後の年も、1学期の最終月を迎えました。4月からの3ヶ月間の子供たちの生活を見ていると、「100周年」「閉校」という意識がうかがえ「心に残る一年間にしたい」という思いが感じられます。

先日、100周年を記念して祝歌を作成するために、4～6年生が、「平野っ子、平野小学校のいいところ・好きなおところ」「平野の街のいいところ」を書きました。たくさんの子供からあがっていた言葉を少し紹介します。

### 【 平野っ子、平野小学校のいいところ・好きなおところ 】

- ・大きな声であいさつをする
- ・みんな（男女）仲がいい
- ・男女で協力する、助け合う
- ・明るくて元気
- ・やさしい
- ・プールから見える山の緑がきれい

### 【 平野の街のいいところ 】

- ・歴史がある
- ・地域の人が、見守ってくれている、やさしい
- ・あいさつをしてくれる
- ・祇園神社からの景色がきれい
- ・地域の行事が楽しい

内容は、ありきたりのことかもしれませんが、子供たちが、それぞれのよさを感じていることをうれしく思いました。また、「平野っ子、平野小学校、平野の街」を改めて見つめなおす機会にもなったように思います。特に、あいさつについては、毎日、各教室から聞こえる明るく元気な「おはようございます」の声、校庭を含め校内に響き渡っています。さらに、その後、明るい歌声を聴くと子供たちの笑顔が浮かんできます。クラスが一つになる瞬間であると同時に、平野小学校の一日の始まりです。3ヶ月間を振り返ると、このあいさつと歌声は、子供たちのパワーとなり、友達同士のつながりの源になっているように思うのです。閉校となる今年度、子供たちが、「母校、平野」「ふるさと、平野」を誇りに思えるよう、感謝の気持ちを育てながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。そして、子供たちだけでなく、保護者・地域の方々、教職員も、平野っ子・平野小学校・平野の街「みんな大好き」といえる年でありたいと願っています。

最後になりましたが、今日まで大過なく過ごせましたのも、保護者・地域の方々の見守り活動をはじめ、多くのご尽力によるものと心より感謝しております。ありがとうございました。今後とも、子供たちが、安全に安心して過ごせるよう、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

校長 小川 信子